

一般財団法人地域活性化センター シニアフェロー

森 吉弘

株式会社 morisemi 代表取締役



<得意とする分野>

キーワードは、『コミュニケーション』と『キャリア』

- ・人とつながる『コミュニケーション力』の向上(認知フレームの認識・改善)
- ・自分の価値観を質し、自分らしい表現を構築する
- ・自分の特性を生かし、聞き手を魅了するプレゼンへ改善する
- ・今後のキャリア形成には、何を考え、何を実行していく必要があるのか
(21 世紀に生き残る人材の特性と能力の伸ばし方)
- ・退屈な会議から楽しい(有意義な)話し合いにする方法とは
- ・風通しの良い職場にするための「心理的安全」を生む組織づくり
- ・成果を出す職場に必要な考え方や伝え方

<自治体等との連携実績等>

- ・山形県米沢市人材育成塾
- ・山形県川西町リーダー育成塾
- ・北海道江別市次世代リーダー研修
- ・島根県松江市・出雲市合同 女性リーダー研修及び次世代幹部研修
- ・全国町村会 町村長・副町村長「コミュニケーションスキル」研修
- ・栃木県益子町 「企画力の創造」研修
- ・厚生労働省所管「観光人材育成研修事業(名称:平戸・松浦地区観光人材育成プロジェクト)」
- ・鹿児島県、鹿屋市串良町柳谷公民館共催「やねだん故郷創世塾」創設・専任講師
- ・経済産業省「社会人基礎力」調査受託、(社会人基礎力の礎を築く)
- ・文部科学省委託事業「多摩地域再チャレンジのための学習システムの構築」
- ・厚生労働省所管「伊佐地域の特性を活かした第六次産業創出・育成による雇用創出事業」
- ・京都府緊急雇用対策基金事業「京都未来担い手養成塾」
- ・総務省人材力活性化・連携交流室「地域づくり人育成講座」

- ・千葉県教育庁協働事業「夢チャレンジ体験スクール(中高生対象)」
- ・福島県石川町 高校生・若手職員対象「地域を創造する」研修
- ・福井県若者就職支援センター主催「地元就職を目指す大学生対象セミナー」
- ・全国市町村国際文化研修所(JIAM)主催 全国地域づくり人財塾セミナー
- ・山形県最上町役場まちづくり地域リーダー塾
- ・横浜市役所「就職活動を行っている学生の心を掴むプレゼンテーション」
- ・横浜市役所「新採用職員研修」
- ・横浜市役所「採用予定者市政セミナー」
- ・千葉県教育庁「第4回教育CSRフォーラム」
- ・一般財団法人地域活性化センター「やねだん東京塾(夏・冬の陣)」
- ・一般財団法人地域活性化センター「人材養成塾」
- ・熊本県「上天草市むらづくりアドバイザー」
- ・兵庫県川西市「ひと、まちおこしセミナー」
- ・市町村職員中央研修所「全国地域づくり人材塾」
- ・秋田県由利本荘市「職員人材育成研修」
- ・福井県中小企業総合支援センター主催「社会人と大学生の交流」
- ・横浜商工会議所・JETRO 共催「外国人採用の定着」講演 ほか。

<略歴>

◆帝京大学 法学部政治学科(共通教育センター兼務)教授

慶応義塾大学経済学部卒。元NHKアナウンサー。

総務省の地域力創造アドバイザーとしても全国各地を回る。

また、アジア 10 か国のトップ大学で講義、近年は企業研修にも力を注ぐ(総合商社、人材大手、オラクル、セイコーエプソン、専門商社や建設業など中小企業も含めて)。

◆大学在学中の 1992 年に、キャリアについて学び合う『森ゼミ』を立ち上げ、現在も活動中。995 人の森ゼミ卒業生が国内外で活躍している。

東京大学や京都大学など旧七帝大での講義を 5 年間続け、現在、国内 6 の大学で「生きる力の強い学生」や「グローバル人材」の育成に取り組む。

学生と社会人を対象に海外研修(ベトナム、インド、中国)をテーマごとに行う。「就活の神様」として『マツコの知らない世界』などに出演

◆2015年にベトナムのハノイへ家族で移住、現地でギフトショップなどを経営。

自身は日本とベトナムを行き来し生活。日本企業に勤めるベトナム人の研修や就活支援講座などの人材教育を軸に活動を展開、中国では、キャリアアップのための教科書が年内に出版される。

◆日中国交正常化 45 周年事業として、在中国日本大使館で『日本語を武器に世界で活躍するために』を講演。

2019年9月には、青島総領事館でも実施。NPO 日中協力機構の理事も務める。講演した大学は10以上、2008年から中国での活動が続ける。

<その他特記事項>

- ・伝える力を伸ばすためには、言葉を選定するまでが重要と考えている。
- ・表現をアウトプットとするならば、それまでの過程をインプットとし、プレゼン力はアウトプット2割、インプットは8割をどう鍛えるかにかかると考える。
- ・プレゼン・会話は、うまいか・へたではなく、おもしろいか・おもしろくないか(内容)に主眼を置いた指導がひとつの特徴である。
- ・近年は、「多様性」というキーワードで依頼されることも増えた。以上

<連絡先>

asiamorisemi@gmail.com